

[論文]

## 地域子育て支援拠点における課題と展望

### — 拠点従事者の自己評価と利用者評価の関係に着目して —

浅井 拓久也

A Study on Current Issues and Future Prospects  
in Community Childcare Support Centers:  
Focusing on Relationship Between Center Staffs' Assessment and Users' Assessment

Takuya Asai

キーワード：地域子育て支援拠点、子育て支援、評価、利用者満足度、Mann-Whitney の U 検定

Key Words : community childcare support center, child-rearing support, assessment, users' satisfaction, Mann-Whitney U test

要約：本研究の目的は、地域子育て支援拠点の子育て支援と拠点に対する利用者ニーズの関係について検討するために、従事者による自己評価と利用者評価の差異を明らかにすることであった。Mann-Whitney の U 検定を行った結果、利用者より従事者の評価が高い質問項目は「地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている」等の 3 つであること、また利用者の評価が高い質問項目は「子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している」等の 4 つであることが明らかとなった。

Abstract : This study aimed to identify some differences between center staffs' assessment and users' assessment to consider the relationship between childrearing supports in community childcare support centers and users' needs. As the result of Mann-Whitney U test, it was shown that 7 items were statistically different by U-score: 3 items such as “you make some activities for the purpose of regional cooperation and exchange” were more highly rated by center staffs than by users, and 4 items such as “you improve the layouts of toys or spaces in centers from the viewpoints of children's playing” were more highly rated by users.

## 1 研究背景と課題設定

本研究の目的は、地域子育て支援拠点（以下、拠点）の事業従事者（以下、従事者）による取り組みと利用者ニーズの関係について明らかにし、拠点の課題と展望を検討するものである。

昨今の子育てを取り巻く環境では、子育ての孤立や負担を感じやすいと言われている。厚生労働省による調査では、「三世帯世帯」は 1986 年に 5,757 千世帯（15.3%）あったが、2018 年では 2,720 千世帯（5.3%）となっている（厚生労働省 2019）。また、内閣府による調査によると、「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」は 1980 年に 1,114 万世帯であったが、2018 年には 606 万世帯、「雇用者の共働き世帯」は 1980 年に 614 万世帯であったが、2018 年には 1,219 万世帯となっている（内閣府 2019）。こうした推移は、核家族化だけではなく、家庭内の身近な子育て支援者が減少していることを意味しており、保護者、特に現代社会では母親の子育ての孤立や負担が生じやすくなっていることを示している。

このように、子育てを取り巻く現代社会の環境が子育ての孤立や負担を招いていることから、地域資源を活用した家庭支援や子育て支援の重要性がますます高まっている。橋本は「家庭支援とは、地域をベースとして家族に対して包括的なサービスを提供する活動を指す」として、家庭支援において地域資源の活用が欠かせないことを指摘している（橋本 2015）。また、網野は「それまでの複相的育児、つまり多世代家族や多様な階層関係、近隣関係のなかで、両親、特に母親に限らない多面的な育児が、次第に単相的育児、つまり縮小した階層関係、希薄化した近隣関係、そして次第に強まる核家族化のなかでもたらされる両親、特に母親による限定的な一面的な育児」を「育児の単相化」と表現し、「育児の単相化」は「子育ての不安定性や孤立感と不安、そして子どもにとって必要不可欠な多様なモデリングの対象となる大人たちとのかかわりの不足や親準備性の不足に結びついていく」ことから、地域による子育て支援や家庭支援を通じた「育児の単相化」からの脱却を指摘している（網野 2002）。

地域資源の活用による子育て支援や家庭支援の一つのかたちが地域子育て支援拠点事業である。同事業の目的にも「地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援すること」とあるように、同事業によって地域資源（地域社会）と子育て家庭をつなぎ、子育て不安や負担を緩和することが期待されている（厚生労働省 2018）。こうした期待に応えるように、同事業が開始された 2007 年の実施箇所は 4,409 箇所であったが、事業類型を変化させながら、2018 年の実施箇所は 7,431 箇所と毎年増加し続けている（厚生労働省 2017）。

また、拠点実施箇所の増加とともに、拠点を管理、運営する従事者を対象とした研究や、親子や母親のような拠点の利用者を対象とした研究がなされてきた。紙幅の都合からすべての先行研究を列挙することは難しいが、前者は橋本（2011）、中谷他（2011）、榊（2013）、

丸谷 (2016)、椎山 (2016)、多田 (2017)、周防他 (2018) 等の研究がある。後者は平田 (2012、2018)、寺村 (2012)、小野 (2013a、2013b)、富田 (2014)、伊藤・川谷 (2015)、岡本 (2015、2016)、富田他 (2015)、三原・佐々木 (2016)、新川 (2016)、菱田他 (2017)、今井・伊藤 (2017)、宇都・川畑 (2017)、浅井 (2018、2019)、柴田・東原 (2018)、寺田・津川 (2018)、上田 (2018) 等の研究がある。

これらの先行研究によって、従事者の管理、運営の実態と利用者の利用実態のそれぞれが明らかになってきたことは大きな成果である。しかし、これらの研究では、それぞれの実態が互いにどのような関係にあるのかという、従事者（利用者）の実態は利用者（従事者）の実態とどのように関係（対応）しているのかについては十分に検討されてこなかった。拠点が効果的な子育て支援を行い、利用者が拠点を主導的に活用していくためには利用者ニーズに対応した子育て支援が欠かせない。そのためには、拠点で実際に行われている子育て支援は利用者が期待すること（求めること）に応えることができるかを明らかにする必要がある。

そこで、本研究では、従事者の取り組みと利用者ニーズの関係について明らかにし、拠点の課題と展望を検討する。具体的には、従事者の取り組みと利用者ニーズが対になるような質問項目において従事者による自己評価と利用者評価の比較を行い、差異を明らかにする。同一の質問項目で従事者による評価と利用者による評価に差異があるとすれば、拠点の取り組みと利用者ニーズが一致しておらず、利用者ニーズに応える子育て支援が実現できていない可能性があり、拠点における課題や展望を検討する示唆を得ることができる。そのため、従事者と利用者の評価の差異に着目する。

## 2 研究方法

### (1) 調査概要

調査対象者は、同一県内にある拠点（子育て支援センター、つどいの広場等）から市町村の偏りが小さくなるように留意して 18 箇所を選定した。

調査方法は、質問項目に対する選択式による質問紙調査とした。質問紙は、2019 年 6 月から 9 月までの間に拠点を訪問し、従事者へは直接配布し、利用者へは従事者経由で配布し、即日回収した。回収した回答は従事者が 62 件、利用者が 224 件であった。

質問項目は、「地域子育て支援拠点事業における活動の指標『ガイドライン』」（以下、ガイドライン）における拠点事業者等を対象とした「ガイドラインに基づく自己評価」と、拠点事業の利用者を対象とした「利用者向けアンケート」を参考に作成した（NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 2017）。質問項目の作成においてガイドラインを参考にする理由は、「地域子育て支援拠点事業における活動評価の分析及び普及可能なガイドラインの作成に関する研究」等の拠点での子育て支援に関する調査研究の結果や厚生労働省による地域子育て支援拠点事業実施要綱を踏まえて作成されていること、またガイドラインとは拠点

施設での子育て支援の質向上のために支援の内容を明示し指標化したものであることから(渡辺・橋本 2018)、従事者の取り組みや利用者ニーズを明らかにするために必要な項目が含まれていると考えたからである。

質問項目の作成では、「利用者向けアンケート」を中心にして、「ガイドラインに基づく自己評価」を見つつ、従事者対象の質問と利用者対象の質問項目が同一のものになるように一部修正した。ガイドラインの質問項目を一部修正した理由は、原文のままでは従事者の評価と利用者の評価が同一のものを評価していることにはならない項目があったからである。たとえば、「ガイドラインに基づく自己評価」の「発達に応じて遊びこめるように、遊具の配置やコーナー分けに工夫をしている」と、「利用者向けアンケート」の「子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどが工夫が〔原文ママ〕されている」である。従事者の質問項目にだけ「発達に応じて遊びこめるように」とあり、原文のままでは従事者と利用者が同一のものを評価しているとは言い難い。また、「ガイドラインに基づく自己評価」の「子ども一人ひとりの最善の利益を尊重している」と「利用者向けアンケート」の「子どもの個性や可能性が認められ、尊重されている」ではワーディングに課題があり、原文のままでは従事者と利用者が同一のものを評価しているとは言い難い。

そこで、本研究では従事者の評価と利用者の評価の差異を明らかにするため従事者と利用者の質問項目を同一のものにする必要があることから、同じものを評価できるように質問項目の一部修正を行った。以上を踏まえて、従事者と利用者に対する 25 問の質問項目を設定した(表 1)。

## (2) 分析方法

後述する分析を行うため、質問に対する回答は、あてはまる = 1、だいたいあてはまる = 2、あまりあてはまらない = 3、あてはまらない = 4 とした。

従事者と利用者それぞれの記述統計量( $n$ 、中央値、四分位範囲、最小値、最大値)を算出した。また、正規性を確認し、従事者と利用者の 2 群間の比較のために Mann-Whitney の U 検定を行った。記述統計量の算出と U 検定は IBM SPSS Statistics v.24 を用いた。

## (3) 倫理的配慮

質問紙に回答する前に、調査目的と内容、回答は学術研究の目的でのみ使用されること、自由意志および無記名によること、回答は途中で放棄することや提出を拒むことができること、質問紙は一定期間経過後に適切な方法で破棄すること等について、従事者は直接、利用者へは従事者から口頭で説明がなされた。質問紙の提出をもって従事者、利用者の同意を得たとした。

表 1 質問項目 (上段: 従事者対象 下段: 利用者対象)

|    |  |
|----|--|
| 1  | 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある<br>親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある         |
| 2  | 子育て等に関する相談や援助を行っている<br>子育て等に関する相談や援助が行われている                                      |
| 3  | 子育てに必要な情報を提供している<br>子育てに必要な情報が提供されている  |
| 4  | 子育てや子育て支援に関する講習などを月1回以上実施している<br>子育てや子育て支援に関する講座などが月1回以上実施されている                  |
| 5  | 地域の方々と連携や交流を図る活動を行っている<br>地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている                                |
| 6  | 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる<br>親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる     |
| 7  | 子どもの個性や可能性を認め、尊重している<br>子どもの個性や可能性が認められ、尊重されている                                  |
| 8  | この施設を提供することで子育てを支えている<br>この施設を利用することで子育てを支えられている                                 |
| 9  | 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れている<br>挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れてくれる                                      |
| 10 | 子育ての悩みなど、こころよく相談を受けている<br>子育ての悩みなど、気兼ねなく相談できる                                    |
| 11 | 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けている<br>親同士・子ども同士の仲間づくりを助けてくれる                                  |
| 12 | 高齢者や学生など、地域のボランティアを活用している<br>高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している                           |
| 13 | 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している<br>子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどが工夫がされている   |
| 14 | 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている<br>子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている |
| 15 | 子どもたちが親以外の大人とかかわっている<br>子どもたちが親以外の大人とかかわっている                                     |
| 16 | 職員は、普段から親子の交流の場において、かかわっている<br>職員は、普段から親子の交流の場において、かかわってくれる                      |
| 17 | いつでも職員に手助けを求めることができる<br>いつでも職員に手助けを求めることができる                                     |
| 18 | 相談されたときには、利用者の気持ちや悩みを受け止め、共感している<br>職員に相談したときには、自分の気持ちや悩みを受け止め、共感してくれる           |
| 19 | 相談されたときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重している<br>職員に相談したときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重してくれる        |
| 20 | 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守っている<br>子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守ってくれる                    |
| 21 | 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮している<br>広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている              |
| 22 | 相談する際のプライバシーを守っている<br>相談する際のプライバシーが守られている  |
| 23 | 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えをしている<br>事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えがなされている                       |
| 24 | 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる<br>利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる |
| 25 | 職員同士が協力しあっている<br>職員同士が協力しあっている   |

### 3 結果

#### (1) 記述統計量

従事者と利用者それぞれの記述統計量（ $n$ 、中央値、四分位範囲、最小値、最大値）を示したものが表 2 である。中央値は 1.00 か 2.00 であった。従事者と利用者それぞれの回答をまとめたものは表 3 である。

表 2 記述統計量（上段：従事者対象 下段：利用者対象）

|   | $n$ | 中央値  | 四分位範囲 | 最小値 | 最大値 |
|---|-----|------|-------|-----|-----|
| 1 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある      | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある        | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 2 子育て等に関する相談や援助を行っている                     | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 子育て等に関する相談や援助が行われている                      | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 3 子育てに必要な情報を提供している                        | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 子育てに必要な情報が提供されている                         | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 4 子育てや子育て支援に関する講習などを月1回以上実施している           | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 子育てや子育て支援に関する講座などが月1回以上実施されている            | 223 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 5 地域の方々と連携や交流を図る活動を行っている                  | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている                   | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 4   |
| 6 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる    | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる      | 223 | 2.00 | 1     | 1   | 4   |
| 7 子どもの個性や可能性を認め、尊重している                    | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 子どもの個性や可能性が認められ、尊重されている                   | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 8 この施設を提供することで子育てを支えている                   | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| この施設を利用することで子育てを支えられている                   | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 9 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れている                     | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れてくれる                      | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 10 子育ての悩みなど、こころよく相談を受けている                 | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 子育ての悩みなど、気兼ねなく相談できる                       | 223 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 11 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けている                  | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けてくれる                    | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 12 高齢者や学生など、地域のボランティアを活用している              | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している                 | 224 | 2.00 | 2     | 1   | 4   |
| 13 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している   | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 2   |
| 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどが工夫されている     | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 14 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている    | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 15 子どもたちが親以外の大人とかかわっている                   | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 2   |
| 子どもたちが親以外の大人とかかわっている                      | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 16 職員は、普段から親子の交流の場において、かかわっている            | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 職員は、普段から親子の交流の場において、かかわってくれる              | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 17 いつでも職員に手助けを求めることができる                   | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 4   |
| いつでも職員に手助けを求めることができる                      | 224 | 2.00 | 1     | 1   | 3   |
| 18 相談されたときには、利用者の気持ちや悩みを受け止め、共感している       | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 職員に相談したときには、自分の気持ちや悩みを受け止め、共感してくれる        | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 19 相談されたときには、解決方法押し付けずに、親の考えを尊重している       | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 職員に相談したときには、解決方法押し付けずに、親の考えを尊重してくれる       | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 20 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守っている           | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守ってくれる             | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 3   |
| 21 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮している        | 62  | 2.00 | 1     | 1   | 3   |
| 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている          | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 22 相談する際のプライバシーを守っている                     | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 相談する際のプライバシーが守られている                       | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 23 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えをしている             | 62  | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えがなされている              | 221 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 24 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる | 62  | 2.00 | 1     | 1   | 4   |
| 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる    | 224 | 1.00 | 1     | 1   | 3   |
| 25 職員同士が協力しあっている                          | 62  | 1.00 | 0     | 1   | 2   |
| 職員同士が協力しあっている                             | 224 | 1.00 | 0     | 1   | 2   |

（注）欠損値のため  $n$  に偏りがある。



表3 従事者と利用者の回答（上段：従事者対象 下段：利用者対象）（％）

|   | 合計             | あてはまる         | だいたいあてはまる    | あまりあてはまらない   | あてはまらない     |
|---|----------------|---------------|--------------|--------------|-------------|
| 1 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある      | 62<br>(100.0)  | 50<br>(80.6)  | 12<br>(19.4) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある        | 224<br>(100.0) | 189<br>(84.4) | 35<br>(15.6) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 2 子育て等に関する相談や援助を行っている                     | 62<br>(100.0)  | 48<br>(77.4)  | 14<br>(22.6) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子育て等に関する相談や援助が行われている                      | 224<br>(100.0) | 168<br>(75.0) | 54<br>(24.1) | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 3 子育てに必要な情報を提供している                        | 62<br>(100.0)  | 44<br>(71.0)  | 16<br>(25.8) | 2<br>(3.2)   | 0<br>(0.0)  |
| 子育てに必要な情報が提供されている                         | 224<br>(100.0) | 176<br>(78.6) | 46<br>(20.5) | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 4 子育てで子育て支援に関する講習などを月1回以上実施している           | 62<br>(100.0)  | 50<br>(80.6)  | 10<br>(16.1) | 2<br>(3.2)   | 0<br>(0.0)  |
| 子育てで子育て支援に関する講座などが月1回以上実施されている            | 223<br>(100.0) | 197<br>(88.3) | 23<br>(10.3) | 3<br>(1.3)   | 0<br>(0.0)  |
| 5 地域の方々と連携や交流を図る活動を行っている                  | 62<br>(100.0)  | 58<br>(93.5)  | 4<br>(6.5)   | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている                   | 224<br>(100.0) | 141<br>(62.9) | 44<br>(19.6) | 23<br>(10.3) | 16<br>(7.1) |
| 6 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる    | 62<br>(100.0)  | 34<br>(54.8)  | 20<br>(32.3) | 8<br>(12.9)  | 0<br>(0.0)  |
| 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる      | 223<br>(100.0) | 106<br>(47.5) | 76<br>(34.1) | 35<br>(15.7) | 6<br>(2.7)  |
| 7 子どもの個性や可能性を認め、尊重している                    | 62<br>(100.0)  | 54<br>(87.1)  | 8<br>(12.9)  | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子どもの個性や可能性が認められ、尊重されている                   | 224<br>(100.0) | 180<br>(80.4) | 40<br>(17.9) | 4<br>(1.8)   | 0<br>(0.0)  |
| 8 この施設を提供することで子育てを支えている                   | 62<br>(100.0)  | 52<br>(83.9)  | 10<br>(16.1) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| この施設を利用することで子育てを支えられている                   | 224<br>(100.0) | 202<br>(90.2) | 18<br>(8.0)  | 4<br>(1.8)   | 0<br>(0.0)  |
| 9 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れている                     | 62<br>(100.0)  | 58<br>(93.5)  | 4<br>(6.5)   | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れてくれる                      | 224<br>(100.0) | 215<br>(96.0) | 9<br>(4.0)   | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 10 子育ての悩みなど、こころよく相談を受けている                 | 62<br>(100.0)  | 52<br>(83.9)  | 10<br>(16.1) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子育ての悩みなど、気兼ねなく相談できる                       | 223<br>(100.0) | 200<br>(89.7) | 21<br>(9.4)  | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 11 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けている                  | 62<br>(100.0)  | 47<br>(75.8)  | 15<br>(24.2) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けてくれる                    | 224<br>(100.0) | 153<br>(68.3) | 59<br>(26.3) | 12<br>(5.4)  | 0<br>(0.0)  |
| 12 高齢者や学生など、地域のボランティアを活用している              | 62<br>(100.0)  | 35<br>(56.5)  | 25<br>(40.3) | 2<br>(3.2)   | 0<br>(0.0)  |
| 高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している                 | 224<br>(100.0) | 88<br>(39.3)  | 79<br>(35.3) | 37<br>(16.5) | 20<br>(8.9) |
| 13 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している   | 62<br>(100.0)  | 42<br>(67.7)  | 20<br>(32.3) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどが工夫されている     | 224<br>(100.0) | 194<br>(86.6) | 29<br>(12.9) | 1<br>(0.4)   | 0<br>(0.0)  |
| 14 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかわりあっている  | 62<br>(100.0)  | 54<br>(87.1)  | 8<br>(12.9)  | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかわりあっている     | 224<br>(100.0) | 181<br>(80.8) | 43<br>(19.2) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 15 子どもたちが親以外の大人とかわっている                    | 62<br>(100.0)  | 44<br>(71.0)  | 18<br>(29.0) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子どもたちが親以外の大人とかわっている                       | 224<br>(100.0) | 182<br>(81.3) | 42<br>(18.7) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 16 職員は、普段から親子の交流の場において、かわっている             | 62<br>(100.0)  | 44<br>(71.0)  | 18<br>(22.6) | 0<br>(6.5)   | 0<br>(0.0)  |
| 職員は、普段から親子の交流の場において、かわってくれる               | 224<br>(100.0) | 165<br>(73.7) | 49<br>(21.9) | 10<br>(4.5)  | 0<br>(0.0)  |
| 17 いつでも職員に手助けを求めることができる                   | 62<br>(100.0)  | 24<br>(38.7)  | 27<br>(43.5) | 11<br>(17.7) | 0<br>(0.0)  |
| いつでも職員に手助けを求めることができる                      | 224<br>(100.0) | 125<br>(55.8) | 75<br>(33.5) | 20<br>(8.9)  | 4<br>(1.8)  |
| 18 相談されたときには、利用者の気持ちや悩みを受け止め、共感している       | 62<br>(100.0)  | 54<br>(87.1)  | 8<br>(12.9)  | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 職員に相談したときには、自分の気持ちや悩みを受け止め、共感してくれる        | 224<br>(100.0) | 199<br>(88.8) | 23<br>(10.3) | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 19 相談されたときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重している      | 62<br>(100.0)  | 54<br>(87.1)  | 8<br>(12.9)  | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 職員に相談したときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重してくれる      | 224<br>(100.0) | 193<br>(86.2) | 29<br>(12.9) | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 20 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守っている           | 62<br>(100.0)  | 58<br>(93.5)  | 4<br>(6.5)   | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守ってくれる             | 224<br>(100.0) | 195<br>(87.1) | 27<br>(12.1) | 2<br>(0.9)   | 0<br>(0.0)  |
| 21 相談する際のプライバシーを守っている                     | 62<br>(100.0)  | 24<br>(38.7)  | 31<br>(50.0) | 7<br>(11.3)  | 0<br>(0.0)  |
| 相談する際のプライバシーが守られている                       | 224<br>(100.0) | 202<br>(90.2) | 22<br>(9.8)  | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 22 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮している        | 62<br>(100.0)  | 52<br>(83.9)  | 10<br>(16.1) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている          | 224<br>(100.0) | 161<br>(71.9) | 53<br>(23.7) | 10<br>(4.5)  | 0<br>(0.0)  |
| 23 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えをしている             | 62<br>(100.0)  | 36<br>(58.1)  | 20<br>(32.3) | 6<br>(9.7)   | 0<br>(0.0)  |
| 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えがなされている              | 221<br>(100.0) | 133<br>(60.2) | 82<br>(37.1) | 6<br>(2.7)   | 0<br>(0.0)  |
| 24 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる | 62<br>(100.0)  | 14<br>(22.6)  | 25<br>(40.3) | 18<br>(29.0) | 5<br>(8.1)  |
| 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる    | 224<br>(100.0) | 154<br>(68.8) | 60<br>(26.8) | 10<br>(4.5)  | 0<br>(0.0)  |
| 25 職員同士が協力している                            | 62<br>(100.0)  | 56<br>(90.3)  | 6<br>(9.7)   | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |
| 職員同士が協力している                               | 224<br>(100.0) | 196<br>(87.5) | 28<br>(12.5) | 0<br>(0.0)   | 0<br>(0.0)  |

(注) 端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

(注) 欠損値のためnに偏りがある。

## (2) 従事者と利用者の 2 群間比較の結果

Kolmogorov-Smirnov の正規性の検定 (Lilliefors による修正) によって正規性を確認し、Mann-Whitney の U 検定を行った結果が表 4 である。

表 4 Mann-WhitneyのU検定結果 (上段：従事者対象 下段：利用者対象)

|   | 平均ランク  | U値       | 有意確率     |
|---|--------|----------|----------|
| 1 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある      | 147.68 | 6685.000 | .484     |
| 親子が交流し、親同士が支えあったり、子ども同士が育ちあう雰囲気がある        | 142.34 |          |          |
| 2 子育て等に関する相談や援助を行っている                     | 140.56 | 6762.000 | .672     |
| 子育て等に関する相談や援助が行われている                      | 144.31 |          |          |
| 3 子育てに必要な情報を提供している                        | 152.50 | 6386.000 | .185     |
| 子育てに必要な情報が提供されている                         | 141.01 |          |          |
| 4 子育てや子育て支援に関する講習などを月1回以上実施している           | 151.71 | 6373.000 | .111     |
| 子育てや子育て支援に関する講座などが月1回以上実施されている            | 140.58 |          |          |
| 5 地域の方々と連携や交流を図る活動を行っている                  | 107.97 | 4741.000 | .000 *** |
| 地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている                   | 153.33 |          |          |
| 6 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる    | 132.76 | 6278.000 | .227     |
| 親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず利用できる      | 145.85 |          |          |
| 7 子どもの個性や可能性を認め、尊重している                    | 135.69 | 6460.000 | .209     |
| 子どもの個性や可能性が認められ、尊重されている                   | 145.66 |          |          |
| 8 この施設を提供することで子育てを支えている                   | 150.24 | 6562.000 | .184     |
| この施設を利用することで子育てを支えられている                   | 141.63 |          |          |
| 9 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れている                     | 146.23 | 6775.000 | .416     |
| 挨拶と笑顔で親子を温かく迎え入れてくれる                      | 142.75 |          |          |
| 10 子育ての悩みなど、こころよく相談を受けている                 | 149.32 | 6521.000 | .218     |
| 子育ての悩みなど、気兼ねなく相談できる                       | 141.24 |          |          |
| 11 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けている                  | 133.65 | 6333.000 | .185     |
| 親同士・子ども同士の仲間づくりを助けてくれる                    | 146.23 |          |          |
| 12 高齢者や学生など、地域のボランティアを活用している              | 113.73 | 5098.500 | .001 **  |
| 高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している                 | 151.74 |          |          |
| 13 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している   | 164.47 | 5644.000 | .001 **  |
| 子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどが工夫がされている    | 137.70 |          |          |
| 14 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている | 136.45 | 6507.000 | .253     |
| 子どもたちが自らの興味や関心に沿って遊んだり、他の子どもとかかわりあっている    | 145.45 |          |          |
| 15 子どもたちが親以外の大人とかかわっている                   | 155.02 | 6230.000 | .079     |
| 子どもたちが親以外の大人とかかわっている                      | 140.31 |          |          |
| 16 職員は、普段から親子の交流の場において、かかわっている            | 146.97 | 6729.000 | .630     |
| 職員は、普段から親子の交流の場において、かかわってくれる              | 142.54 |          |          |
| 17 いつでも職員に手助けを求めることができる                   | 163.72 | 5690.500 | .016 *   |
| いつでも職員に手助けを求めることができる                      | 137.90 |          |          |
| 18 相談されたときには、利用者の気持ちや悩みを受け止め、共感している       | 145.32 | 6831.000 | .723     |
| 職員に相談したときには、自分の気持ちや悩みを受け止め、共感してくれる        | 143.00 |          |          |
| 19 相談されたときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重している      | 142.32 | 6871.000 | .831     |
| 職員に相談したときには、解決方法を押し付けずに、親の考えを尊重してくれる      | 143.83 |          |          |
| 20 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守っている           | 136.16 | 6489.000 | .154     |
| 子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守ってくれる             | 145.53 |          |          |
| 21 相談する際のプライバシーを守っている                     | 202.39 | 3293.000 | .000 *** |
| 相談する際のプライバシーが守られている                       | 127.20 |          |          |
| 22 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮している        | 129.26 | 6061.000 | .044 *   |
| 広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている          | 147.44 |          |          |
| 23 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えをしている             | 147.43 | 6520.000 | .499     |
| 事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の備えがなされている              | 140.50 |          |          |
| 24 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる | 204.73 | 3148.000 | .000 *** |
| 利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる    | 126.55 |          |          |
| 25 職員同士が協力しあっている                          | 140.34 | 6758.000 | .544     |
| 職員同士が協力しあっている                             | 144.38 |          |          |

\*\*\* $p < .001$  \*\* $p < .01$  \* $p < .05$



従事者の回答は、「子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している」(従事者の平均ランクは 164.47、利用者の平均ランクは 137.70、 $U$ 値は 5644.000、有意確率は.001)、「いつでも職員に手助けを求めることができる」(従事者の平均ランクは 163.72、利用者の平均ランクは 137.90、 $U$ 値は 5690.500、有意確率は.016)、「相談する際のプライバシーを守っている」(従事者の平均ランクは 202.39、利用者の平均ランクは 127.20、 $U$ 値は 3293.000、有意確率は.000)、「利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる」(従事者の平均ランクは 204.73、利用者の平均ランクは 126.55、 $U$ 値は 3148.000、有意確率は.000)において、利用者の回答より有意に高値であった(従事者の評価は利用者の評価より低かった)。

一方で、利用者の回答は、「地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている」(従事者の平均ランクは 107.97、利用者の平均ランクは 153.33、 $U$ 値は 4741.000、有意確率は.000)、「高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している」(従事者の平均ランクは 113.73、利用者の平均ランクは 151.74、 $U$ 値は 5098.500、有意確率は.001)、「広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている」(従事者の平均ランクは 129.26、利用者の平均ランクは 147.44、 $U$ 値は 6061.000、有意確率は.044)において、従事者の回答より有意に高値であった(利用者の評価は従事者の評価より低かった)。

#### 4 総合的な考察

本研究の目的は、従事者の取り組みと利用者ニーズの関係について明らかにするため、従事者による自己評価と利用者評価の差異を明らかにすることであった。Mann-Whitney の  $U$  検定を行った結果、利用者より従事者の評価が高い質問項目は、「地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている」、「高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している」、「広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている」であった。また、利用者の評価が高い質問項目は、「子どもたちが遊びやすいように、遊具の配置やコーナー分けなどを工夫している」、「いつでも職員に手助けを求めることができる」、「相談する際のプライバシーを守っている」、「利用者に直接意見を聞いたり、アンケートなどを行い、業務の改善に取り組んでいる」であった。

本研究の結果からなぜこうした差異が生じるのかという原因まで明らかにすることはできないが、こうした差異から従事者の取り組みのなかには利用者ニーズに応えきれていないものがあることがわかる。もちろん、拠点の管理や運営において利用者のあらゆるニーズに対応することは難しいが、利用者ニーズに応える取り組みを実施することが重要になるであろう。

特に、利用者満足度と関係のあるニーズに応えきれていないと拠点利用率の低下につながる可能性が高く、子育て支援の目的を達成することができなくなることから、従事者が優先的に対応すべきであろう。本研究から明らかになったように、「地域の方々と連携や交流

を図る活動が行われている」と「高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している」については従事者と比べると利用者の評価が低い。これらは地域資源と利用者をつなぐという拠点の存在意義に関わるものであるのみならず、拠点の利用者満足度にも影響を与えるものである。本研究とほぼ同一の質問項目を用いて調査を行った研究によると、「利用しやすさ」、「子どもと他者の交流」、「地域とのつながり」の3つの因子が拠点の利用者満足度に有意な影響を及ぼしていた。「地域の方々と連携や交流を図る活動が行われている」と「高齢者や学生など、地域のボランティアが活動している」は「地域とのつながり」の因子と強い関連を示していた（浅井 2018）。このように、従事者は評価していても利用者は評価しておらず、その評価が利用者満足度に影響を及ぼすものについては優先的に対応していく必要がある<sup>(1)</sup>。

このように、従事者の取り組みを利用者ニーズに応えるものにするためには、拠点における評価の仕組み作りが必要になるであろう。この際、利用者評価だけを実施するのではなく従事者の自己評価も実施し、双方の評価を比較することで、従事者の取り組みと利用者ニーズの差異がいつそう明らかになり、利用者ニーズに対応した取り組みを維持したり改善したりしやすくなるであろう。本研究ではガイドラインを使用した、地域や利用者の特性に応じた質問項目を作成し、評価を行うことが重要である。柏女（2017）が「利用者の主体性を尊重し、サービス利用の主導権を利用者に委ねるためには、利用者と供給者とのパートナーシップの形成が必要となる。そのために、供給者側の情報提供や利用者のサービス決定への参画といった手法の導入や、サービスの評価システムという新たな専門性が必要とされるのである」と指摘するように、利用者主体の拠点実施のためには拠点における評価システムの構築が必要と言えよう。

また、評価システムの構築のために、子育て支援員研修における地域子育て支援拠点事業の科目の見直しも検討していく必要がある。現在は、「地域子育て支援拠点を全体像で捉えるための科目」、「利用者理解」、「地域子育て支援拠点の活動」、「講座の企画」、「事例検討」、「地域資源の連携づくりと促進」の6科目であるが、拠点において評価がいつそう重要になることを鑑みれば、評価システムのあり方を学ぶための新たな科目を含めることも検討していく必要がある。

現代社会における子育てを取り巻く環境は厳しく、子育ての担い手の不安や負担は大きい。遠藤は、人間の乳児は生理的早産であり、そもそも母親に課される子育ての負担が大きく、それゆえに他者と協力して子育てする必要性があることを指摘している（遠藤 2017）。核家族化等により身近な子育て支援者がいないことが多い現代社会だからこそ、拠点において利用者ニーズに応える子育て支援がいつそう重要になるであろう。

## 5 研究の限界と今後の課題

本研究では、2つの限界があった。まず、本研究は調査対象者である従事者と利用者の多

様性（セグメンテーション）を踏まえた分析ではなかった。2015 年以降の子ども・子育て支援新制度での拠点は一般型と連携型がある。また、一般型でも保育所等が実施しているのか NPO 法人が実施しているのかによって、拠点の取り組み方や取り組みの内容は異なる。利用者の特性やニーズも異なる。そのため、事業類型や実施主体の違いや利用者の特性を考慮した分析が必要である。また、本研究では正規性の検定の結果を踏まえて Mann-Whitney の U 検定を行った。しかし、ノンパラメトリック検定はパラメトリック検定と比べて検出力が低下するという課題がある。質問項目に対する回答方法を細分化する等して正規性を保障したうえでパラメトリック検定を実施し、本研究の裏付けを行う必要がある。

本研究では、利用者による評価だけを踏まえて従事者の取り組みを改善しようとするのではなく、従事者と利用者の評価の差異を利用者満足度の観点から検討することで、何を改善すべきかの優先順位をつけることを提案した。小野（2013a、2013b）、浅井（2018）、寺田・津川（2018）では拠点の利用者満足度に影響を及ぼす要因について明らかにしている。しかし、これらの研究では因子分析という同一の手法を採用しているが、いずれの研究でも共通して抽出されている要因もあるが、質問項目等が異なることから異なる要因が抽出されている。そのため、今後、拠点の利用者満足度に影響を及ぼす要因に関するさらなる研究が必要になるであろう。

## 注記

（１）もちろん、利用者満足度に影響は及ぼさないが拠点を管理、運営するために重要な項目もある。例えば、「広報紙・通信やホームページ等での情報の扱いについて配慮されている」は従事者と比べて利用者の評価が低い。本項目は利用者満足度に影響を及ぼす因子と関連はなかったが（浅井 2018）、拠点に関する情報の扱い（発信等）は利用者にとって重要である。なぜなら、地域の子育て支援に関する情報を広報誌やホームページから得ている利用者は多いからである。

## 引用文献

- 網野武博（2002）児童福祉学－〈子ども主体〉への学際的アプローチ－，中央法規出版，161-163
- 浅井拓久也（2018）地域子育て支援拠点の子育て支援に対する利用者満足度に影響を及ぼす要因，秋草学園短期大学紀要，（35），1-13
- 浅井拓久也（2019）地域子育て支援拠点での子育て支援に関する研究－拠点利用前後における母親の子育て不安の変化に着目して－，秋草学園短期大学紀要，（36），24-37
- 遠藤利彦（2017）赤ちゃんの発達とアタッチメント 乳児保育で大切にしたいこと，ひとなる書房，10-13
- 橋本真紀（2011）地域を基盤とした子育て支援実践の現状と課題－地域子育て支援拠点事業セ

- ンター型実践の検証から－. 社会福祉学, 52 (1). 41-54
- 橋本真紀 (2015) 地域を基盤とした子育て支援の専門的機能. ミネルヴァ書房, 24
- 菱田博之・齊藤勇紀・及川直樹 (2017) 利用者の実態を踏まえた地域子育て支援拠点事業の効果についての一考察－施設を利用する母親の「子育て肯定感」から－. 社会福祉科学研究, 6. 103-108
- 平田美智子 (2012) 子育てサークルと育児期のストレス－地域子育て支援拠点でのインタビューから－. 和泉短期大学研究紀要, (32). 29-36
- 平田美智子 (2018) 地域子育て支援拠点における利用者支援事業－関東地域の地域子育て支援拠点へのアンケート調査から－. 和泉短期大学研究紀要, (38). 11-18
- 今井昭仁・伊藤篤 (2017) 神戸市の大学等が運営する地域子育て支援拠点事業の利用状況と展望. 神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要, 10 (2). 135-140
- 伊藤篤・川谷和子 (2015) 地域子育て支援拠点・ひろば型における早期ペアレンティング講座の意義－0歳児のパパママセミナー受講者の自由記述を手がかりとして－. 神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要, 7 (2). 125-131
- 柏女霊峰 (2017) 子どもの身体的・心理的・社会的特性と子ども家庭福祉ニーズ. 淑徳大学研究紀要 (総合福祉学部・コミュニティ政策学部), 51. 1-18
- 厚生労働省 (2017) 地域子育て支援拠点事業実施状況 (平成 30 年度実施状況), 1
- 厚生労働省 (2018) 地域子育て支援拠点事業の実施について, 2
- 厚生労働省 (2019) 平成 30 年国民生活基礎調査の概況, 3
- 丸谷充子 (2016) 子育て支援者がとらえる親子の成長－子ども広場の子育て支援者へのアンケート調査から－. 浦和論叢, (54). 89-105
- 三原詔子・佐々木美智子 (2016) 福岡市における地域子育て支援の取り組みについて. 中村学園大学発達支援センター研究紀要, (7). 111-116
- 中谷奈津子・橋本真紀・越智紀子 (2011) 地域子育て支援拠点事業専任保育士の業務内容の定量的分析－保育所併設型地域子育て支援センター観察調査の試みから－. 子ども家庭福祉学, (10). 47-57
- 内閣府 (2019) 令和元年版男女共同参画白書, 116
- 新川泰弘 (2016) 地域子育て支援拠点におけるファミリーソーシャルワークの学びと省察. 相川書房.
- 新川泰弘 (2018) 地域子育て支援拠点利用者の子育て環境と利用者ニーズとの関連性－ソーシャルワークの視点から－. 子ども家庭福祉学, (18). 1-13
- NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 (2017) 地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」(改訂版). 16-18
- 岡本聡子 (2015) 母親の育児不安解消における地域子育て支援拠点事業の効果－利用者アンケートを通じた測定と検証－. 創造都市研究, 10 (1). 1-12

- 岡村幸代 (2016) 子育て支援に参加した母親の子育て意識の変容－8名の母親の語りから－. 家庭教育研究, (21). 37-48
- 小野セレスタ摩耶 (2013a) A市地域子育て支援拠点事業の利用者評価に関する研究－実施場所別の分析結果を中心に－. Human welfare, 5 (1). 75-85
- 小野セレスタ摩耶 (2013b) A市地域子育て支援拠点事業の利用者評価－満足度を中心に－. 子ども家庭福祉学, (13). 13-24
- 榊ひとみ (2013) 地域子育て支援拠点におけるスタッフの学習と連帯. 北海道大学大学院教育学研究院紀要, (119). 1-26
- 柴田亮・東原文子 (2018) 地域子育て支援拠点事業の利用に際しての不安に関する検討－家庭訪問支援の可能性を視野に入れて－. 聖徳大学児童学研究所紀要, (20). 1-9
- 椎山克己 (2016) 地域子育て支援拠点事業「信愛つどいの広場」の現状と課題. 久留米信愛女学院短期大学研究紀要, (39). 45-50
- 周防美智子・中典子・田口陽子・逢坂麻由・近藤真由美・延原栄子・平尾博美・山下明美・伏見美紀 (2018) 地域子育て支援拠点事業における支援に関する研究. 岡山県立大学保健福祉学部紀要, (24). 81-89
- 多田幸子 (2017) 地方市部における地域子育て支援拠点事業施設の実践. 山梨県立大学人間福祉学部紀要, (12). 19-38
- 寺田和永・津川秀夫 (2018) 地域子育て支援拠点施設における利用者満足度の規定要因. チャイルド・サイエンス, (15). 39-43
- 寺村ゆかの (2012) 神戸大学サテライトで提供される地域子育て支援拠点事業の評価研究－利用者を対象とした悉皆調査を通して－. 神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要, 5 (2). 119-131
- 富田道子 (2014) 広島都市学園大学地域子育て支援拠点事業の役割に関する一考察－利用者への質問紙調査から－. 広島都市学園大学子ども教育学部紀要, 1 (1). 61-70
- 富田道子・児嶋芳郎・深澤悦子・田丸尚美・杉山直子・國清あやか・須崎朝子・石橋由美 (2015) 広島都市学園大学地域子育て支援拠点事業に関する一考察－オープンスペース「いーぐる」利用者への第2・3回質問紙調査から－. 広島都市学園大学子ども教育学部紀要, 2 (2). 41-54
- 上田よう子 (2018) 地域子育て支援拠点における利用者の心情変容プロセスを支える支援に関する研究－複線径路・等至性モデル分析による支援の検討－. 保育学研究, 56 (2). 111-119
- 宇都弘美・川畑由佳子 (2017) A市における地域子育て支援の活用実態と支援ニーズに関する調査. 南九州地域科学研究所所報, (33). 13-18
- 渡辺顕一郎・橋本真紀 (2018) 詳解地域子育て支援拠点ガイドラインの手引き (第3版)－子ども家庭福祉の制度・実践をふまえて－. 中央法規出版.



#### 付記

本研究は、秋草学園短期大学平成 31 年度奨励研究費助成による研究である。また、本研究の分析方法について、東京成徳短期大学の田中浩二先生にご助言をいただきました。記してお礼申し上げます。